

土質安定処理用 発塵抑制型 生石灰

ドライムソフト



Yoshizawa

概要

本製品は、生石灰粉末に防塵加工を施した「発塵抑制型生石灰」です。
製品散布時に発生する発塵を抑制し、生石灰と同等の改良効果を得ることができます。

仕様

粒度・荷姿

製品名	粒度	荷姿	種類
ドライムソフト	0～5mm	1 t フレコン	生石灰系

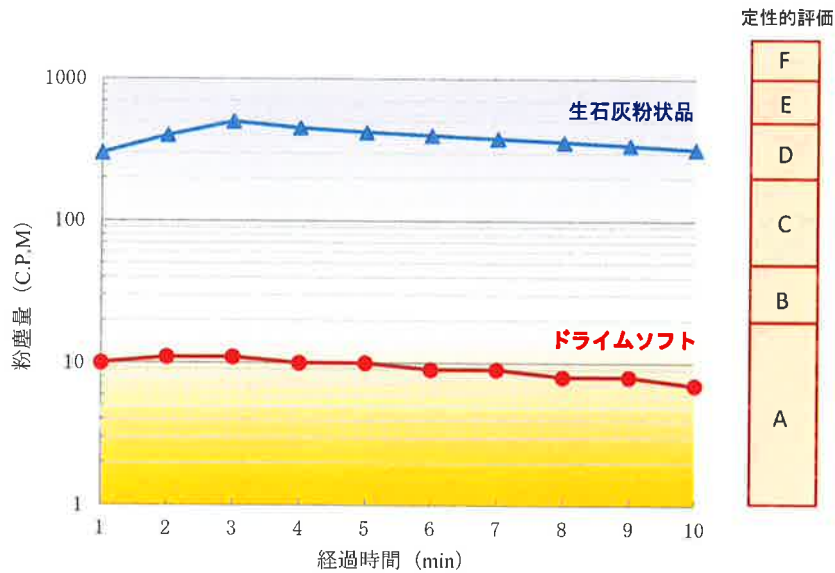
施工状況



ドライムソフトによる混合状況



生石灰粉状品(一般品)による混合状況



※粉塵量(C.P.M)はデジタル粉塵計で測定した浮遊粉塵量のことである。

粉塵量と定性的評価

粉塵量 (C.P.M)	定性的評価
F	1000～ 著しい粉塵で目が開けられない、呼吸が困難
E	500～1000 激しいほこりで立ち止まっていられない
D	200～500 耕運機等を使用した農作業
C	50～200 ほこりを感じられるか感じられないか程度
B	20～50 交通量の多い道路の歩道
A	1～20 一般的なオフィス・事務所内

種類・対象土

適用土質

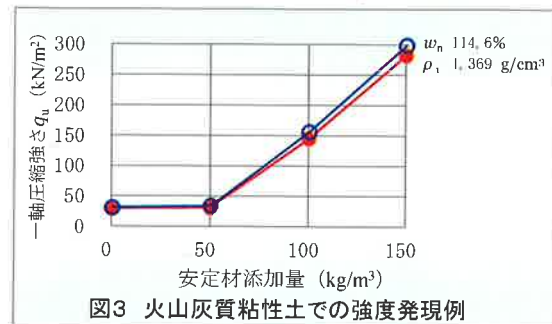
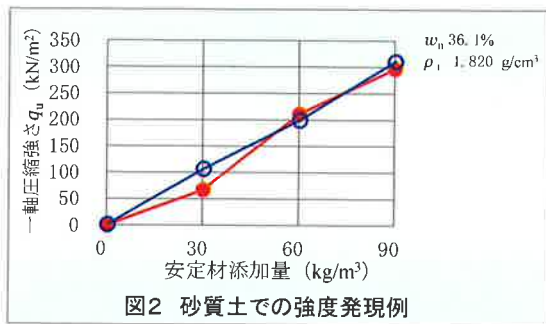
	礫質土 [G]	砂質土 [S]	シルト [M]	粘土 [C]	火山灰質粘性土 [V]	有機質土 [O]
低 ↑ 含水比 ↓ 高						
		消石灰				
		ドライムソフト				
				生石灰		

強度特性例

ドライムソフトと生石灰の強度発現例

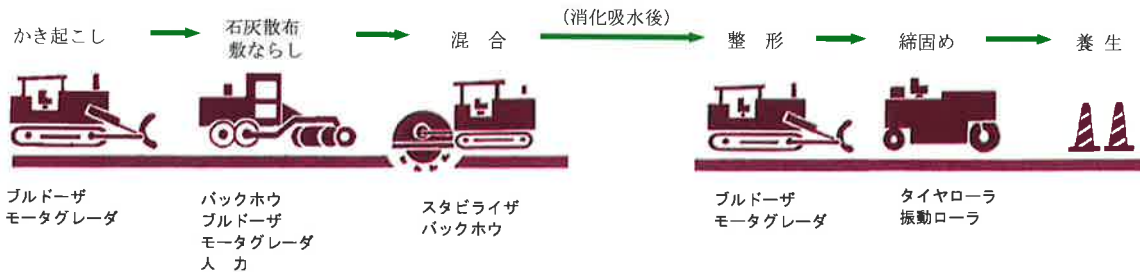
養生 9日 空中1日 水浸

●—● ドライムソフト
○—○ 生石灰



施工方法

浅層安定処理(路上混合)



- ・混合時は、生石灰と土中水との消化反応が始まらない早い時期に速やかに固化材粒子を土中に分散させる様な施工を心掛けて下さい。
- ・混合回数は、本製品を含む粉状の生石灰(0-5mm)の場合、1回の混合で済ませてもよいのですが、未消化の生石灰が残っていないか確認して下さい。

取り扱い方法

- ①本製品の添加量が多い、または対象土の含水比が高い場合、混合時に生石灰と土中水との消化反応により水蒸気とともに消石灰等が飛散する恐れがあります。
- ②水と反応して発熱し発火する危険性があるため、保管は、水にぬれないように十分留意した上で周囲に可燃物を置かず保管し、保管の際はシート掛け・高上げ等を行って下さい。
- ③作業には、保護メガネ・保護手袋・保護マスクを着用して下さい。
- ④目に入った場合は、きれいな水で目を十分に洗浄し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ⑤皮膚についた場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。
- ⑥多量に吸入した場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ⑦フレコンの荷卸しや運搬時の取扱いは、正しく丁寧に行ってください。
- ⑧フレコンの吊荷の下には、絶対に人が入らないようにして下さい。
- ⑨**ドライムソフト**は生石灰(酸化カルシウム80%以上を含有するもの)をベースにしたものです。酸化カルシウム80%以上含有する製品の500kg以上の取扱いまたは貯蔵については、最寄りの消防署への届出が必要です。



本 社 〒327-0592

栃木県佐野市宮下町7-10

TEL0283(84)1112 FAX0283(84)1122

東北支店 〒980-0803

宮城県仙台市青葉区国分町1-7-18

東洋ワークビル7階2E

TEL022(796)6863 FAX022(796)6864